

# 日照不足等に伴う農作物の技術対策(第1報)

平成 29年 8月 21日  
いわき農林事務所・いわき市  
JA福島さくらいわき地区本部

いわき市内では8月に入り前線や低気圧の影響で降水量が多く日照時間の少ない天候が続いており、農作物に病害虫の発生や生育の遅れ、湿害等が見られます。

8月14日発表の「低温と日照不足に関する福島県気象情報第2号」によると、県内では今後1週間程度、湿った東よりの風の影響で、平均気温が平年より低く日照時間の少ない状態が続く見込みですので、農作物の管理には十分注意しましょう。

最高気温(8月1日～20日の平均値)と日照時間(8月1日～20日までの合計値)

	最高気温(度)	平年差(度)	日照時間(h)	平年比(%)
小名浜	26.7	-0.8	55.8	45

## 日照不足・低温に関する農作物等の当面の技術対策

(8月18日発表 福島県農林水産部農業振興課資料から抜粋)

### 【共通事項】

#### (1) 適期防除の徹底

今後の天候の推移に十分に注意し、ほ場の観察を定期的に行い、適期防除に努める。

#### 1 水 稲

- (1) 出穂後、少なくとも30日間は落水せず間断かんがいとし、根の活力を維持することで登熟の向上を図る。
- (2) 中山間地域等でまだ穂揃いに達していないほ場では上位葉の葉いもち発生状況等に注意し、病斑がみられる場合は防除する。

#### 2 園芸作物

##### (1) 野菜・花き

###### ア 草勢の維持

草勢をよく観察し、天候が回復してから追肥を行う。なお、その場合は窒素過多とならないよう、窒素分量を加減する。

###### イ 適期防除

特に露地栽培のきゅうりやピーマン等は、べと病、つる枯病、炭そ病等、キクでは白さび病、リンドウでは葉枯病や褐斑病等の発生に注意し、適期防除に努める。

##### (2) 果 樹

###### ア 適正な着果管理

なしの中晩生品種等では、果実肥大や樹勢に応じて修正摘果を実施する。

###### イ 適期収穫

果肉熟度の進みに注意しながら、品種毎の収穫基準に従い計画的に収穫する。

#### 3 飼料作物

牧草と飼料用とうもろこしは、排水対策の徹底と適期の収穫調製に努める。

現在収穫期の稲WC Sは、乳酸菌を添加するなど品質向上に努める。